

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社
 コード番号 5440 URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣富 靖以
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社経営企画部長 (氏名) 増田 晶紀 TEL 06-6346-5221
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	237,491	△12.5	14,749	62.3	14,860	56.5	11,570	86.8
2023年3月期第3四半期	271,332	29.2	9,089	32.8	9,493	14.7	6,195	36.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 16,053百万円 (5.3%) 2023年3月期第3四半期 15,241百万円 (61.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	266.23	—
2023年3月期第3四半期	142.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	357,491	202,743	54.1
2023年3月期	337,713	190,174	53.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 193,376百万円 2023年3月期 179,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	65.00	80.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	65.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2023年3月期の期末配当には、創立75周年記念配当5円が含まれております。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	324,000	△8.9	20,000	35.0	19,000	29.5	13,000	△0.8	299.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	44,898,730株	2023年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,439,755株	2023年3月期	1,439,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	43,458,975株	2023年3月期3Q	43,458,975株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、社会経済活動の正常化と雇用や所得環境の改善が進み、回復基調で推移しました。世界経済においては、金融引き締めや物価上昇、中東地域をめぐる情勢、中国経済の先行き懸念などによる景気の下押しリスクを抱え、一部の地域においては停滞感があったものの、全体的には持ち直しの動きがみられました。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は前年同期対比33,840百万円(12.5%)減収の237,491百万円、連結営業利益は同5,659百万円(62.3%)増益の14,749百万円、連結経常利益は同5,367百万円(56.5%)増益の14,860百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同5,375百万円(86.8%)増益の11,570百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、住宅分野の建設需要は建設コストの高止まりなどによって弱基調で推移しましたが、企業の底堅い設備投資が非住宅分野の建設需要を下支えし、製品出荷量は前年同期対比5.4万トン増の118.7万トンとなりました。鉄スクラップ価格は、中国の不動産市場の低迷などを受け世界の鋼材需要が減速したことから、前年同期対比2.9千円(5.3%)下落しました。一方、製品価格については製造費や運賃などコスト高を背景とした引き上げに努めた結果、同4.9千円(4.8%)上昇し、売買価格差(製品価格と原材料価格の差額)は7.7千円(16.5%)拡大しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比8,018百万円(7.2%)増収の119,915百万円、営業利益は同8,729百万円(91.4%)増益の18,279百万円となりました。

② 海外鉄鋼事業

当事業部門については、ベトナム及び北米(米国・カナダ)にて鉄鋼事業を展開しており、いずれも決算期は12月です。

ベトナムでは、不動産および建設需要の低迷が継続し、非常に厳しい事業環境となりました。特に住宅向けを主力とする南部拠点では、需要減に伴う生産調整によるコスト負担の増加と製品市況の下落により、業績が低調に推移しました。

北米では、米国拠点において、老朽化に伴う設備トラブルや8月に発生した火災事故によって製品生産量・出荷量が減少し、製造コストが増加したことなどから業績が大幅に悪化しました。カナダ拠点においては、旺盛な建設需要を受けて製品生産量・出荷量が増加しましたが、第2四半期連結累計期間中の定期修繕と電気代高騰の影響などが残り、前年同期対比で減益となりました。

以上の結果、売上高は前年同期対比41,072百万円(27.3%)減収の109,117百万円、営業損失は3,293百万円(前年同期は993百万円の営業損失)となりました。

③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、当社グループ最大の処理拠点である山口事業所の大規模な定修工事に伴う一時的な荷止めや、新型コロナウイルス感染症の鎮静化に伴う医療廃棄物処理案件の減少などの影響により、売上高は前年同期対比883百万円(15.5%)減収の4,802百万円、営業利益は同685百万円(54.1%)減益の580百万円となりました。

④ その他の事業

当事業部門については、ベトナムでの港湾事業や国内及びベトナムでの鋳物事業などを行っています。売上高は前年同期対比98百万円(2.7%)増収の3,656百万円となり、営業利益は24百万円(前年同期は129百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10,308百万円(4.9%)増加し、220,898百万円となりました。これは、売掛金が4,029百万円、電子記録債権が8,330百万円、流動資産その他が1,474百万円増加し、現金及び預金が2,197

百万円、受取手形が144百万円、商品及び製品が187百万円、原材料及び貯蔵品が963百万円減少したこと等により
ます。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて9,470百万円（7.4%）増加し、136,592百万円となりました。これは、
建物及び構築物が342百万円、機械装置及び運搬具が481百万円、土地が903百万円、有形固定資産その他が3,596百
万円、投資有価証券が2,286百万円、退職給付に係る資産が599百万円、繰延税金資産が539百万円、投資その他の
資産その他が830百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて19,778百万円（5.9%）増加し、357,491百万円となりました。
（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8,796百万円（8.8%）増加し、108,431百万円となりました。これは、
支払手形及び買掛金が5,688百万円、電子記録債務が715百万円、未払法人税等が3,954百万円増加し、短期借入金
が920百万円、流動負債その他が2,268百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,587百万円（3.3%）減少し、46,317百万円となりました。これは、
退職給付に係る負債が415百万円増加し、長期借入金が2,217百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて7,208百万円（4.9%）増加し、154,748百万円となりまし
た。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて12,569百万円（6.6%）増加し、202,743百万円となりました。これは、親
会社株主に帰属する四半期純利益を11,570百万円計上し、その他有価証券評価差額金が812百万円、為替換算調整
勘定が4,455百万円、退職給付に係る調整累計額が319百万円増加した一方で、非支配株主持分が1,120百万円、利
益剰余金の配当により3,477百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の53.2%から、54.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期連結業績予想につきましては、前回発表（2023年10月31日）の連結業績予想からの変更はあり
ません。今後、事業環境の変化などによって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いた
します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,746	55,549
受取手形	725	581
売掛金	60,539	64,569
電子記録債権	20,092	28,423
商品及び製品	37,040	36,853
原材料及び貯蔵品	30,476	29,513
その他	4,266	5,740
貸倒引当金	△293	△329
流動資産合計	210,591	220,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,754	25,097
機械装置及び運搬具（純額）	41,312	41,793
土地	31,187	32,090
その他（純額）	4,941	8,537
有形固定資産合計	102,194	107,516
無形固定資産		
のれん	829	852
その他	3,164	3,053
無形固定資産合計	3,993	3,905
投資その他の資産		
投資有価証券	14,065	16,352
長期貸付金	243	224
退職給付に係る資産	3,983	4,582
繰延税金資産	731	1,270
その他	1,949	2,779
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	20,936	25,171
固定資産合計	127,123	136,592
資産合計	337,713	357,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,370	22,058
電子記録債務	2,623	3,338
短期借入金	58,342	57,422
1年内返済予定の長期借入金	4,235	4,960
未払法人税等	1,604	5,558
賞与引当金	966	1,868
その他	15,494	13,226
流動負債合計	99,635	108,431
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	26,960	24,742
繰延税金負債	3,636	3,746
再評価に係る繰延税金負債	2,394	2,394
退職給付に係る負債	3,344	3,760
その他	1,570	1,676
固定負債合計	47,904	46,317
負債合計	147,539	154,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	19,716	19,641
利益剰余金	125,499	133,592
自己株式	△1,700	△1,700
株主資本合計	162,030	170,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,190	3,002
繰延ヘッジ損益	109	193
土地再評価差額金	4,536	4,536
為替換算調整勘定	7,559	12,014
退職給付に係る調整累計額	3,264	3,583
その他の包括利益累計額合計	17,657	23,328
非支配株主持分	10,487	9,366
純資産合計	190,174	202,743
負債純資産合計	337,713	357,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	271,332	237,491
売上原価	247,710	207,444
売上総利益	23,622	30,047
販売費及び一般管理費	14,532	15,299
営業利益	9,089	14,749
営業外収益		
受取利息	519	841
受取配当金	272	361
持分法による投資利益	975	1,707
その他	486	367
営業外収益合計	2,252	3,276
営業外費用		
支払利息	1,582	2,765
為替差損	144	299
その他	122	101
営業外費用合計	1,848	3,164
経常利益	9,493	14,860
特別利益		
固定資産除売却益	62	130
受取保険金	—	856
その他	6	—
特別利益合計	68	986
特別損失		
固定資産除売却損	218	209
事故関連損失	232	883
その他	3	7
特別損失合計	453	1,099
税金等調整前四半期純利益	9,108	14,747
法人税等	4,075	5,145
四半期純利益	5,034	9,603
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,161	△1,967
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,195	11,570

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	5,034	9,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	454	812
繰延ヘッジ損益	199	85
為替換算調整勘定	9,313	5,234
退職給付に係る調整額	242	319
その他の包括利益合計	10,207	6,450
四半期包括利益	15,241	16,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,481	17,241
非支配株主に係る四半期包括利益	760	△1,188

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 鉄鋼事業	海外 鉄鋼事業	環境リサ イクル 事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	111,898	150,189	5,686	267,773	3,559	—	271,332
外部顧客への売上高	111,898	150,189	5,686	267,773	3,559	—	271,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	281	285	792	△1,077	—
計	111,902	150,189	5,967	268,058	4,350	△1,077	271,332
セグメント利益又は損失(△)	9,550	△993	1,266	9,823	△129	△604	9,089

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、土木資材販売業、保険代理店業等です。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△604百万円には、セグメント間取引消去20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△625百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 鉄鋼事業	海外 鉄鋼事業	環境リサ イクル 事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	119,915	109,117	4,802	233,835	3,656	—	237,491
外部顧客への売上高	119,915	109,117	4,802	233,835	3,656	—	237,491
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	386	388	646	△1,034	—
計	119,917	109,117	5,189	234,223	4,302	△1,034	237,491
セグメント利益又は損失 (△)	18,279	△3,293	580	15,566	24	△841	14,749

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、土木資材販売業、保険代理店業等です。

2 「セグメント利益又は損失 (△)」の調整額△841百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△847百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

3 「セグメント利益又は損失 (△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。